

第 17 回

商業者、市民と市長のタウンミーティング

報 告 書

○期 日 平 成 20 年 1 月 30 日

○会 場 西 久 保 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」、「双方向」で地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

このたび、テーマ別タウンミーティングの初回として、三鷹（中部）地区の商店街振興をテーマに、第17回「商業者、市民と市長のタウンミーティング」を、西久保コミュニティセンターにおいて開催しましたので、その結果を報告します。

また今後は、地域ごとのタウンミーティング、テーマ別のタウンミーティングを織り交ぜながら開催していくことにより、より多くの意見交換を行ってまいります。

概 要

1. 日 時 平成20年1月30日(水)
午後7時00分～9時10分
2. 場 所 西久保コミュニティセンター
3. 主 催 武蔵野市
4. 協 力 武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会
5. 参加者数 80人
6. 主催側出席者 市長 邑上守正
武蔵野商工会議所会頭 稲垣英夫
武蔵野市商店会連合会会長 金子和雄
中部地区地域活性化協議会会長 田中義一

環境生活部長 五十嵐修
都市整備部長 井上良一
生活経済課長 小島祐一
7. 司 会 企画政策室市民協働推進課長 渡部敏夫
8. 内 容 「三鷹(中部)地区の商店街振興」をテーマとした意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1)開会のあいさつ	1
(2)「三鷹（中部）地区の商店街振興」をテーマとした意見交換(要旨).....	4
はじめに.....	4
1. 三鷹駅北口駐輪場の有効活用について.....	9
2. 商店街での市内農産物の販売について.....	10
3. サミット出店と交通問題について.....	10
4. ムーバスの商業環境への影響について.....	12
5. 三鷹駅エキナカの立地について.....	12
6. 中部地区のビジョンについて.....	13
7. 商店会加盟店の地域参加、地域通貨への支援について.....	14
8. 商店会の要望の把握と実効性のある振興策の実施について.....	15
9. 商店街の振興策と大型店の出店について.....	16
10. イルミネーションの実施、更地の駐輪場について.....	17
11. 商店街と地域の連携強化について.....	18
12. 地域に根ざした産業の育成について.....	20
13. サミット周辺の交通について.....	20
14. 中部圏のランドデザインについて.....	22
15. 路線商店街よりも小さな商店の集まりに対する支援について.....	22
16. 武蔵野市の独自条例による商店街への支援について.....	23
17. サミットの建物の歩道からの距離について.....	23
(3)閉会のあいさつ.....	26
— 付属資料 —	
平成18年3月 路線商業活性化懇談会提言書（抜粋）	
第17回「商業者、市民と市長のタウンミーティング」ちらし	

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市 長】

皆さん、こんばんは。寒いですね。今週は特に寒い日が続きました。間もなく節分です。月曜日が立春ということで、暦の上ではもう春ですが、当面まだ寒い日が続きますので、お風邪など召さないように気をつけていただければと思います。

本日は、お寒い中をお集まりいただきまして、ありがとうございます。私は、市長になってすぐ、市民との意見交換をどうやって進めるかを考えまして、各地域に出向いて、市民と率直に意見交換をしたいと思います。名称も「市民と市長のタウンミーティング」ということで、「市民」を先に出しました。市民の皆さんと市長が意見交換をする場ということで、2年前の1月からスタートして、去年の11月までで16回終わりました。



今までのタウンミーティングは、地元のコミュニティ協議会と共催という形で、一緒に企画、運営をしようということで取り組み、16回で合計1,500名を超える皆さんに参加いただき、多種多様なご意見をいただきました。毎回、報告書をつくって、当日いただいた意見をすべてまとめて、それについて市の考え方を掲載して、皆さんのもとに戻すということを繰り返しています。あのとき言ったことはどうなったのかといったように、これからのまちづくりのキャッチボールの根拠にしていきたいと考えております。

そういう形で市内の全コミュニティセンターを一巡しまして、新たなタウンミーティングをどうするかということをしていろいろ考えておりました。地域を単位にするとさまざまな話題が出てきますが、一回の中ですべてのテーマを取り上げますと、それぞれのテーマに関する議論が若干薄くなるという課題もあり、テーマを絞ってやったらどうかというご提案をいただきました。

この間、地域の皆さん、あるいは、商工会議所、商店会連合会の皆さんから、ぜひ商店街というテーマでタウンミーティングをやったらどうかという強いご意見をいただきましたので、テーマ別の第1回として商店街を取り上げました。しかし、商店街といっても、市全体を取り上げますと広い話にもなってくるということで、まずは、中部地区を対象とした商店街の今後について、大いに意見交換をしようということで本日の開催となりました。

本日、開催にあたっては、市だけではなくて、武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会の皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。そういう趣旨ですので、今日は幅広の意見交換というよりかは、商店街の今後のあり方ということにテーマを絞って、皆さんとの意見交換を進めていきたいと思っております。

今日はおおむね2時間ということでございますので、ぜひ皆さんと集中して意見交換を進

めたいと思います。ご参加いただきまして、ありがとうございます。

【司 会】

次に、ご協力をいただいております武蔵野商工会議所会頭の稲垣英夫様と、中部地区活性化協議会会長の田中義一様からごあいさつをいただきたいと思います。

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫会頭】



皆様、こんばんは。今日は「商業者と市民と市長のタウンミーティング」ということで、武蔵野商工会議所も協力者として参加させていただきました。

今までタウンミーティングについては、市民と同じ目線で話し合いをするということ、16回開催されてきたわけですが、今回はテーマ別で、三鷹地区の商店街振興について、市長との意見交換会をしたいということで、我々も協力者として参加しております。

今、三鷹地区には、大型店が2店舗出ようとしておりますし、また、ツインタワーの建設、三鷹駅内のディラ三鷹など、いろいろなことがあろうかと思えます。ディラ三鷹については、25店舗のうち約半分が開店しまして、そこそこの売上を上げているということで、初年度は1,000万円ほど上がったような話も聞いております。

新しいいろいろな店が出てきて、集客があるかということ、従来の3割増しぐらいなんです。それが2倍も3倍も行くということは絶対ありません。新しいお客さんを呼ぶということは、新しい店ができて困難な状況にあるわけです。実際、吉祥寺では、ヨドバシカメラが出店して、西友の電機売り場やラオックスは、お客さんが大変少なくなっているというような状況です。

そういったことから考えますと、三鷹地区の商店街というのは大変な状況にあると私は思っています。それに加えて、円高、オイル高、株安というようなことが、追い打ちをかけている気もします。

今日は、市長にそのあたりのことを訴えていただいて、意義のあるお話ができればいいなと思っております。

商工会議所も十分協力はさせていただきますし、そのためには仕掛けをしないとだめだと思っております。まちづくりは、ハードもソフトも、民間でできること、民間と行政と一緒にやること、行政だけができること、この3つに分かれるかと思いますが、その辺を市長といろいろと話し合っていて、商工会議所も今後、どのような仕掛けをするかなどについては、相談に乗っていきたいと思います。

今日は意義あるお話ができれば幸いです。よろしく申し上げます。

【中部地区地域活性化協議会 田中義一会長】

皆様、こんばんは。当協議会は、中部地域の三鷹駅の北口を中心といたします14の商店街

で構成しております、私は、三谷通り商店会の会長も務めております。

現在、この地域には大型スーパーが4カ所あります。コンビニエンスストアは約12店舗あり、そのほかに99円ショップ、あるいは、ドラッグストアなどのお店が多々ありまして、商店街が非常に影響を受けているのが現状です。



今日、いろいろお話があろうかと思いますが、三鷹駅北口のツインタワービル内の大型商業施設、来年度にはオープンが予定されていますグリーンパークのサミットストア、それから境の浄水場に建設予定のいなげやというようなことがあって、私たちの三谷通りから距離にしていますと、グリーンパークまでは直線距離で約900m、いなげやまでは約1,000m、自転車ですらにでも5分で行けるという状況の中で、大型店舗が出てきます。まして、サミットの場合は、京王ストアの隣にできます。しかも、売り場面積が約4倍の広さという計画です。

こういったような状況がありまして、今日、一般消費者の方もたくさんおいでかと思いますが、商店街といいますと、やはりお客様に物を売る商業者であります。商店街は通勤や通学の生活道路でもあるわけですし、当然、街路等含めて、地域の安全・安心を大変担っているわけです。商店街が衰退いたしますと、市民の安全を守るということにも大きな影響を及ぼすかと思えます。

今日は、こういったことを含めまして、皆様方に、ぜひ市長さんに貴重なご意見をいただいて、この中部地域の商店街がますます発展していきますようにご協力をお願いいたします。挨拶とさせていただきます。

(2) 「三鷹（中部）地区の商店街振興」をテーマにした意見交換（要旨）

はじめに

【市長】

それでは、最初に、共通の認識をしていただくために、現状の整理を私のほうから簡単にさせていただいた後に、私の商店街に対する思い、期待も含めて述べさせていただきたいと思います。

平成 18 年 3 月に路線商業活性化懇談会の提言書をいただいております。本日お見えの商店会連合会の金子会長に座長をしていただき、いろいろご検討いただいた結果でございます。地域の皆さん、市民の皆さんにはお知らせする機会が少なかったかと思いますが、現在ある商店街の課題を整理いただき、方向性をいろいろ提案いただいております。

そこで、先ほどの冒頭のあいさつの中で、なかなか商業環境は厳しいというご発言がありました。これは全国的な傾向でございます。武蔵野市も同様でございます。にぎやかな感じはしますけれども、かつてのバブル時代と比べると、皆様方の売上額や店舗数が伸びていない。どちらかという減少傾向にあるというのが事実でございます。

例えば商店街の状況で、「商店会及び会員数の推移」でございますが、平成 15 年から 17 年の動きを見ると、全体として商店会の数は 1 つ、2 つぐらい減っておりますが、会員数はかなり減っている傾向でございます。ただし、よく見ますと、吉祥寺、境での減少傾向に比べて、中部地域は商店会の会員数については横ばいの状況にあるということでございます。

それから、2 番目に「商店会加入状況」ということでございますが、全域で見ると 11.8%の方が未加入店であると。逆に申しますと、加入率から申しますと約 88%といったような形が、これが全市域の商店会の加入率になってまいります。

吉祥寺、中部、武蔵境を見ますと、武蔵境が一番未加入の店の率が高い。次が吉祥寺。中部につきましては市内では一番低い。低いといっても 9 割という加入率でございます。これは全国的に見たら、かなり率としてはいいほうではないかと思っております。

それから、「商店街の利用状況に関するアンケート調査」を実施しまして、市内で無作為で 500 名の方にアンケートをお願いしました。回収率は 50%とやや低いです。その結果があります。

アンケートは 8 項目ありますが、まず、「商店街での買い物の頻度」についてですが、当然商店街というのは多くの方に利用いただいております。3 人に 2 人は利用いただいている。1 人はほとんど利用されていないということでございます。

それから、2 番目で、「商店街利用の理由」というのは、主な理由として「家や職場から近い」、「気に入った店がある」というような上位の理由でございますが、よく見ていきますと、5、6 番目あたりに「店員が親切」といったような項目がございまして、これも商店街を利用される大きな理由の一つではないかと思っております。

それから、「利用したいと思う店舗の条件は」ということでございますが、これは圧倒的に「商品の品質がよい」71%、「価格が安い」63%、「品揃えが豊富」が 63%。商品に関する条件を望む人が極めて高いということでございます。

それから、「商店街以外の買い物場所」ということですが、「スーパー」が 82%、「コンビニ」が 57%、「デパート」が 48%で、商店以外ではスーパー等が圧倒的に多いということになります。

5 番目で「商品情報の入手は」ということでは、これはチラシだとか店舗での宣伝だとかということですが、さらに女性ですと口コミという形で、3割を超える方が口コミ情報をもとに、商店街の商品の情報を入手されているということになります。

6 番目で「魅力ある商店街にするには」ということでは、商品だとか接客の充実を望む声が結構多くの意見を占めています。

7 番目で「商店街に元気がない理由は」ということですが、「大型店やコンビニの進出」が 78.7%、あとは「品質や品揃えがよくない」、「店舗数が減ってきている」等々の元気がない理由を挙げておられます。



最後に、商店街で行っている地域活動は何かご存じですかということに對しまして、これが極めて高い率でございまして、祭りや盆踊りなどの運営をされているということを知られている方が 80%を超えています。地域のさまざまなイベントで商店街の皆さんは頑張っていることを、市民の皆さんがかなり認知しているという結果になっております。

次に、現状での路線商業の課題を幾つか申し上げますと、個店の皆さんの高齢化が進んでいるということ。それから、若い後継者が少ないということ。それから、営業意欲がやや低下ぎみだということ。それから、業種がそろわない。魅力ある店が少ない。それから、廃・転業ですね、オーナー化による商業環境の維持が困難となっていること。大型店、全国チェーン等の進出があることなどが、現状の課題として整理をされております。

そういう課題を踏まえて、これから一体どのような形で商店街を考えていくべきかについての提言という形でまとめをいただいております。提言としては 4 項目でございますが、4 項目の提言 4 につきましては行政が関与すべきことで、提言 1、提言 2、提言 3 は主として商店会の皆さんが頑張ってくださいと、それに対して、枝番をつけておりますが、提言 4-1、4-2、4-3 とございますのは、行政が積極的に関与をすべきことということで、ご提言をいただいております。

提言 1 で、まずは商店会の組織力を強化すべきではないか。加入促進を勧めたりすること。それから、会則あるいは事業計画等をしっかり立てていくこと。それから商店会なりのコミュニケーションの活性化を図っていくこと。商店会活動の PR を進めていくこと。商店街ぐるみで買い物機能の充実を図っていくこと。共同事業の推進と商店会連携を図っていくことなどなどが言われております。

それに対しまして、行政が関わるべき課題としまして、商店会加入促進策の支援をすべきではないか。あるいは、組織力強化に関する支援。商店会事業への補助。広域連携事業への補助。ウエルカムキャンペーン、イルミネーション、コミュニティースタジオ等とあります

が、そういう事業に補助。アドバイザーを派遣。あるいはイベントの広報協力。あるいは各種情報提供ということですね。それらをぜひ行政に支援してほしいということでございます。

それから、提言 2 としまして「個店の魅力向上」ということでございますが、豊富な商品知識。接客。オリジナル商品の開発や発掘。陳列方法の工夫。商品の鮮度。あるいは、店自体のブラッシュアップ、ユニバーサルデザイン化。お買い物情報、お得意情報の提供、スタンプサービス。IT の活用といったようなことがございます。

それに対して、行政の関与としては、マイスターショップ認定制度の補助だとか、アドバイザー派遣だとか、小規模の企業者融資あっせん事業の推進だとか、そういう支援をすべきだという提案でございます。

最後の提言 3 というのは「商店会と地域との連携強化」ということで、地域コミュニティの核としての商店街。人に優しい商店街づくりを目指す。あるいは、イベントを活用していく。それから、地域ネットワークを活用していくということでございます。

行政としては、さらに国や都、関係機関との連絡調整を進めていくこと。あるいは、市役所内部及び役所間における連絡調整を進めていくこと。あるいは、市民団体や大学等々の連絡調整、あるいは情報提供等を進めていく等々の提言をいただいております。

18 年 3 月に提言をいただきまして、これを踏まえて、市の施策としてできることは、研究し、具体的な補助事業等については支援を進めているところでございます。こういうレポートもございますので、皆さんにも少し頭の中に入れていただきたいということでございます。

中部地域というのは実に多くの商店街で構成をされて、それぞれ皆さんが地域で頑張っておられますが、昨今さまざまなスーパーの進出ということが今起こっております。スーパーの進出、あるいは現在三鷹駅の中にショッピング街ができつつありますが、その状況というのを生活経済課長から報告をさせます。

【生活経済課長】

それでは、最近の大規模店舗の状況、情報をご紹介します。まず、三鷹駅のエキナカのディラ三鷹でございますけれども、これは店舗面積が 1,380 ㎡でございます、昨年 12 月 16 日に、既に 15 店舗オープンしてございますが、これから既存店の改修を含めると 10 店舗が開店され、全体では約 25 店舗のオープンでございます。

続きまして、その北側の三鷹駅の北口のツインタワーでございますが、これは南側の棟と北側の棟がございます、1 階につきましては、まず南側が約 719 ㎡ございまして、そして 2 階にも 1,400 ㎡ほどございまして、現在伺っておりますのは、1 階と 2 階はスーパー及び飲食ということで、そのスーパーと飲食の割合は未定でございます。業者もまだ決まっておりません。そして、3 階、4 階がスポーツ施設でございます、5 階がクリニック及び認証保育が入るようなことで予定しております。

三鷹北口ツインタワーにつきましては、業者さんもまだ決定しておりませんが、近隣には東急ストアさんがございますので、それとバッティングしますが、東急ストアさんよりはハイレベルなスーパーを考えているというような状況でございます。要は価格のレンジを外しているということだそうです。

緑町の武蔵野グリーンパークビルについてですが、グリーンパークの商店街の前の、今ゴ

ルフ練習場があるところでございますけれども、そちらには売り場面積が約 2,036 m²で、サミットさんが入るというように現在聞いております。サミットさんに予想の売上のことも聞きましたが、企業秘密ということで、それは申せませんということでした。売り場の面積から推測すると約 20 億から 25 億の間と思われます。

浄水場の西側でございますが、いなげやさんが出店するということが現在決定しており、こちらの売り場面積につきましては 1,862 m²でございます。同じ建物には洋品店のしまむらさんと、あと現在伺っていますのは、ドラッグストアのウェルパークさんが入るそうでございます。いなげやさんにつきましては 1,862 m²でございますけれども、しまむらさんが 999 m²、ウェルパーク、ドラッグストアにつきましては 684 m²でございます。

いなげやさんのほうの年間売上も本日確認いたしましたところ、年間約 20 億から 21 億円を想定しているというような状況でございます。

【市長】

そういう新たなスーパーの進出計画が起こっているということで、厳しい環境にあることを私ども重々承知しております。そして、先ほども提言の中でいろいろ方向性が出ましたが、特にこれから商店街の皆様にはぜひお願いをしたいことを、最初に私のほうから述べさせていただきます。と思っています。

昨年、商工会議所の主催で武蔵野の商業ということでお招きいただきまして、講演をさせていただきました。その中でも「商業のこれから」という形で述べさせていただいたことと重複をいたしますが、昨年お話ししたのは全般的な商業、吉祥寺をかなり中心にとらえておりましたが、今日は、武蔵野の商店街の今後の行方ということでお話を進めたいと思います。

まず、先ほどアンケートの中でもありましたが、商店街の評価の中で非常に親切にされたという点で、市民の皆様は評価をされていることが多いと私は受けとめております。つまり、普通のスーパーでは、陳列から物を取って、レジに行って、お金を払ってそれで終わりですが、個店の皆さんのところへ行きますと、必ず何らかの会話があるわけです。そういうことがこれからの市民にとってすごく心の豊かさにもつながるということもございまして、品物に対する信頼感、安心感にもつながるのではないかと思います。

その中では、私は、商店の皆さんの顔が見える商店づくりというのをぜひお願いしたいと思っています。お近くに J A の新鮮館がありますね。野菜を売っていただいています。そこには、野菜を生産された生産者のお名前が入っています。かつ壁には生産者の顔写真が張ってあります。この人がつくったのかという生産者責任が明確に示されていることが、非常に信頼感につながるわけです。それに関連して、店の顔が、店主の顔がわかるような取り組みも、是非していただきたいのが 1 番目であります。

それから、地域での役割ということでございますが、厳しいから市に支援をしてほしいと、これは重々わかりますが、市がいろいろ支援するというのは、その店なり商店街が地域にとって、あるいは市民にとって大いにプラスになることがあれば、大いに行政として支援ができるわけでありまして、ですので、今までもそうですが、地域でのさまざまな役割を今後とも担っていくことが、通常の百貨店やスーパーとは違った、商店会としての大きな財産ではないかと思っています。

評価の中でも、先ほどのアンケートの中でも、市民の皆さんは「お祭等で商店会の皆さんが頑張っている」ことを実感しているという話でございますので、そこをもう少し、次は商店街に来ていただいて購買につなげていくような、そんな流れをぜひつくっていただきたい。そのためにもより地域との連携、商店街は頑張っているんだぞというのをもっともっとPRしていただければと思っております。

それから、連携というキーワードであります。私は、新年の市報の冒頭でのあいさつで「つなぐ」ということをキーワードとして掲げました。商店街もぜひ「つなぐ」という発想で大いに考えていただきたいと思っております。私、市報の新年号の中でつなぐという幾つかの例で、店をつないで商店街を活性化していこうといった話を書いたかと思っておりますけれども、まさに店をつないでいく。いろいろ厳しい状況で、空き店舗等あるかもしれません。しかし、それを有効利用していくような取り組みをぜひ考えるべきではないかと思っております。そういう商店街自体をつなげていく発想と、連携ということで申しますと、地域の住民との連携、それから商店がいろいろ各地に散らばっておりますが、そういう商店街相互の連携等をぜひ強化いただければと思っております。

それから、これは全般的な話ではございますが、環境という面は市民には極めて関心の高いことでもあります。今年が京都議定書の発効年で、向こう5年間のうちにCO₂の発生量を下げないといけないという大きな課題もございます。その中で、例えば商店街が環境問題に取り組んでいるぞというようなことを大いに発信していただければと思っております。武蔵野市には、そういう意識が高い市民がいっぱいいらっしゃいますので、商店街の取り組みというのは本当に感じるわけでございます。そういうことも含めて市民とのつながり、連携をしていただければなと思っております。

さらに、商店街の皆さんにはとりわけ注目をしていただきたいのが、昼間人口という考え方でございます。当然皆さんは昼間、夜間を問わず地域に行き交う人を買っていただきたい、これは当然のことでございますが、武蔵野市の人口構造を考えますと、実は周辺の市と比べて昼間人口が多いですね。これはもちろん吉祥寺があるからでもあります。もう一つは、学校が結構多いのです。武蔵野市内には3つ、隣の西東京市にある武蔵野大学は正門を武蔵野市に向けております。それから東京女子大も、杉並区にありますが、正門を武蔵野市に向けております。この5つの大学の学生数は2万6,000人にもなるのです。境のほうに行きますと、武蔵境駅を利用して東京外国語大学、ICU、そういう学校もありますので、若い人が武蔵野市内を行き交っています。学生は日中こそは学校にいるかもしれませんが、夕方以降は町に出てくるわけですから、学生が寄れるような、そんな仕掛けづくりも何かヒントになるのではないかなと思っております。例えば大学から駅に歩く途中にある商店街の一角に、そういう大学生が集えるようなコーナーを設けていくとか、学生向けの何かをつくるだとか、集まれる拠点をつくるのが、先ほど申しました昼間人口の活用につながっていくのではないかと思っておりますので、ぜひ注目いただきたいと思っております。

それから、新たな付加価値。サービス機能ということで、商店街イコール物を売るということではなくて、新たなサービスの機能を大いに考えていただきたいと思っております。今、三谷通り商店街の皆さんに、保育園の誘致をお願いしているところであります。保育園の周

りの方は非常にうるさいじゃないかといったような課題もありますが、保育園は、100 人の子供がいれば親が必ず朝晩迎えに来るし、日中は子供たちの歓声があるし、にぎわいが生まれる大きな拠点施設になり得るのです。ですので、新しい地域の商店街の一つの姿として、そういう公共的な施設、人が集まれるような施設をぜひ誘致していく、そんな取り組みも新たな商店街の方向としてあるのではないかと考えております。

物を売るといのは大きく第一義でございますが、さらにいろいろなサービスだとか、そういう機能を付加していくということも、これからの商店街に必要ではないかなと考えております。

それから、最後になりますが、IT化であります。実に、商店街の皆さんは、IT化に対してはやや取り組みが遅れているのではないかなという気がいたしております。我々の世代になりますと、物を買うときにはまずパソコンで、どこで安く買えるのか調べます。そういうことを、ぜひ商店街あるいは商店の皆さんが発信していただきたいです。これは各個店がやるのはなかなか難しいかもしれませんが、皆様で協働して、商店会単位でホームページを立ち上げて、そういう情報を積極的に流していく、発信していく。少なくともパソコンを使ってインターネットで検索したときに、ぱっとヒットするような、そんな努力をされることもこれからの時代において大いに必要ではないかなと考えております。

なかなか困難な面もあるかもしれませんが、しかし、これからもっともっと商店街自体を活性化していくんだということから前向きな取り組みは不可欠でございますので、大変かもしれませんが、その大変さを乗り越えてこそ新しい明るい未来があるのではないかなと考えております。

1. 三鷹駅北口駐輪場の有効活用について

【ご意見】

私は中町1丁目に住んでいて、そこでコンビニエンスストアを経営している。商店街にとっては敵かもしれないが、八丁商和会の会員でもあり、一緒にお祭りをやったりしている。ただ、残念ながら、八丁商和会の通りは、JR三鷹駅が高架になり、上り線ホームが踏み切りをふさいだため、昭和40年代に踏み切りがなくなり、三鷹駅南口と行き来していた人の流れが遮断されたという歴史がある。それから、三鷹駅北口には大きな駐輪場があり、非常に低利用といえる土地ではないかと思うが、それがやはりにぎわいに欠けているということで、商店街としても苦境で、三鷹駅北口商店街に比べると、100m来ただけで世界ががらりと変わってしまっている。



今、市長が言ったように、駐輪場を大学生や中高生などの人が集まる施設にしてもいいのではないかと。武蔵野プレイスが武蔵境駅南口にできるが、三鷹駅北口にできてもいいのではないかと。自転車の通行量も多く、人が集まる場所にはなっているが、残念ながら平置きの駐輪場という、さみしく、夜には暗い環境になっているのは事実だ。そういった面では、市の吉祥寺への莫大な投資に比べると、中央地区の三鷹駅北口

周辺は、昔から、ほとんど投資をされていないのではないかと。三鷹駅北口広場も改修されたが、もう少し力を入れていただきたい。市の投資を中央地区にお願いします。

2. 商店街での市内農産物の販売について

【ご意見】

私は西久保に住んでおり、市民農園で野菜をつくるのを趣味にしている。自分で野菜を作って初めてわかったのだが、とりたての野菜はこんなにおいしいのかということと、野菜を作るということは本当に大変で、苦勞のわりには報われないなと思った。

とりたての野菜というのは、非常に商品価値があると思う。武蔵野市には、まだ農家が残っており、とりたての野菜を手に入れることが可能な地域である。だから、市が農家と商店会の間を取り持って、朝どりの野菜をその日の午前中のうちに商店街で売れるような手立てを考えていただきたいと思う。そうすれば野菜を運ぶ時間もほとんどかからないので、その分ガソリンも使わずに省エネになり、環境にもいい。しかも、商店会だけではなく農業も振興させることができる。農地も残るから環境にもいい。こういうことであれば、市が大幅にバックアップしても大義名分が立つのではないかと。ぜひこういった施策をお願いしたい。

3. サミットの出店と交通問題について

【ご意見】

グリーンパーク商店会の者として伺いたい。今、ちょうど道路を挟んだ反対側に、サミットが建とうとしている。いろいろと説明会等に参加をして話を聞いており、大店法の改正とか、規制緩和で、阻止することはできないという状況も当然わかってはいるが、やはり非常に脅威に感じているのでお伺いしたい。まず、建築許可というのは市からもう下りているのか。



また、サミットができた際の道路のことを非常に心配している。西久保3丁目の交差点から高齢者センターまでの短い間に、サミットができることによって、車の出入口が5つできてしまう。現状2つある。ブックオフがあり、マンションがあるが、その駐車場に入る道、今の計画上でサミットの納品車が入る道、ちょっと離れたところで、今度はサミットに来るお客様のスロープの道、これで4カ所になる。しかし、昨日、新しくもらった書類によると、その裏がもしかしたら駐車場になるかもしれないということで、そこにまた、道路を切って出入口ができる。そこは、東小学校の通学路にも指定されているので、やはり交通に関しては非常に危惧している。あそこは吉祥寺行きと三鷹行きのバス停もある。どちらかに車が停まればすれ違えず、渋滞も起きやすい。その辺のことで、市長さんとしてはどのように判断されているのかということをお伺いしたい。

【市長】

まず、三鷹駅北口の問題です。確かに昔は踏み切りがあって、通りやすかったのですが、今は地下道でやや行きづらくなっているということもあります。三鷹駅の北口は商業地がかなり広がっておりますが、三鷹駅の南口も大きな商業地域になっています。この南北を合わせますと、吉祥寺より大きい商業地域の面積になるという、一大商業エリアなのです。ですから、三鷹駅周辺の商業環境を考えるとときには、もちろん北口頑張れと私は言いたいところですが、三鷹駅全体の回遊性を大いに考えていくことが極めて必要じゃないかなと思っています。ただ、物理的に、構造的に、今、平面での回遊性がなされていない。

今、実は吉祥寺ではもっと回遊性を増すようにと J R に言っているところなのですが、三鷹駅でももう少し、南北を動けるような回遊性をぜひ考えるべきです。これは両市が考えないといけませんので、今そういう投げかけをしています。これからいろいろ研究会をしようという話も出てくると思っています。

同時に、先ほどお尋ねの三鷹駅北口にさみしい部分があるのではないかとということです。駐輪場としてはすごく自転車がにぎやかですが、土地をフラットなまま駐輪場だけに使うというのは、私としても大変もったいないなと思っています。あそこは駐輪場でも暫定利用ということですので、ぜひこれについては今後の土地利用の方向を考えていきたいなと思っています。その中で、市としていろいろ不足する公共施設等がありますので、それも含めて、北口の駐輪場については再度公共施設としての、公共用地としての有効利用を議論し、検討していきたいなと思っています。当然そういう施設になれば、自転車を利用する人だけじゃなくて、新たな施設に来る人も期待できるわけで、そういう人も含めて、その地域の商店街との連携をねらっていければいいのではないかなという気がしています。

続いて、野菜の話をご提案いただきました。新鮮館は行かれていますよね。新鮮館では朝摘み取った市内産の野菜も販売いただいておりますが、現在、流通としては、全八百屋さんには行っていません。基本的には J A 東京むさしが仲介をして、それを卸していきますので、その連携がある商店であれば卸されると思います。吉祥寺で申しますと麦わら帽子がある。三鷹駅ですと新鮮館がある。境のほうはないですね。あとは、直売所がありますよね。そこはまさに朝とった野菜を積んで、自主的にお金を入れる。その辺は、ご提案があったということはぜひ J A に伝えておきます。販売量があるのかどうかは、なかなか難しいかもしれませんが、市内で市内産の野菜が食べられるというのは、私としても大変いいことだなと思っています。

ちなみに、今小学校の給食でも市内産の野菜を入れていただきまして、子供たちにも食べてもらっています。今年、できれば中学校給食もスタートをしたいと思っておりますし、中学生にも市内産の野菜を食べてもらいたいなと思っています。子供たちに限らず市民の皆さんも、地産地消の極めて一部分かもしれないけれども、市内産の野菜は、おいしくて、品質は保証できますから、ぜひ食べていただきたいなと思っています。

それから、サミットの問題であります。まだ許可は下りていません。現在その調整をしている段階でございます。

それから、道路問題についてはこれからの調整になってまいります。確かに何カ所も切っていくことになると、危険箇所が増えてくるということではございますが、原則駐車場の

出入り等については警備員を配置するという考えで指導していきたいと思っております。これは、ほかの吉祥寺の百貨店なんかでもそうですが、必ず駐車場の入り口に警備員を立たせて渋滞行列をつくらせないという方向で指導していきたいなと思っております。

4. ムーバスの商業環境への影響について

【ご意見】

中町3丁目、大野田商店会。うちの商店会は、今まで北町5丁目、3丁目のお客さんが流れてきていたが、ムーバスができたおかげで、それがほとんど成蹊通りの裏通りから成蹊通りを通過して大正通りに行ってしまう。それで東急で降りて買い物をして、帰ってきて、商店街は用がなくなっちゃったというお客さんばかりだ。商店街の自助努力も足りないのかもしれないが。

今、市長さんが言ったような提言は、そのとおりだと思うが、やはり今空き店舗がたくさんあるので、若い人を呼び込むということで、空き店舗を市で借りてもらって、そこでイベントの助成等をしてもらえばいいと思う。そういうことをぜひ期待したい。商店街も努力しなきゃならないが、やはり市からも一層の援助をいただければ、少しはよくなるのではないかな。

今までは結構それなりにやっていたのに、あのムーバスができてから人が来なくなってしまった。昭和35年から40年代、50年代ぐらいは、ほとんどの商店街は景気がよかったが、それ以後、バブルがはじけたせいでいろいろある。そういう中で、吉祥寺以外はほとんどレベルが下がっているというのが今の実態だ。市の援助が必要だと思う。

5. 三鷹駅エキナカの立地について

【ご意見】

中町1丁目の者だ。三鷹駅のエキナカの件だが、三鷹駅の駅舎は東京都水道局の土地を使って建物が建っている。最初、近所の方に「ご近所の皆様へ」ということでこういう資料が配られたので、そのときに、私はエキナカをつくるんじゃないのかと思って、「エキナカをつくれますね」と言ったら、「つくらない」と言われた。平成17年11月吉日にこの資料が配られたが、平成19年10月26日の日経新聞でエキナカを開業すると急に発表された。

境の浄水場に東京都の水道局の事務所があり、JRは、そこにエキナカ開発の申請をしているので、その申請書類を見せていただいたが、非常にずさんな申請書類であった。図を見ると、玉川上水の上に建物が建っていたり、土地を勝手に使っていたりする。コピーさせてくださいと言ったが、コピーさせてくれなかった。こういうことがあっていいのか。裁判をやった場合、市からご助言等いただけるのか。

【市長】

今2名の方からご質問、ご提案をいただきました。1つは、ムーバスがかえって商店街の活性化を損ねているということでした。ムーバス自体は、今まで16コミセンのタウンミーティングをやった経過では、もっと路線を増やせとか、便数を増やせ、夜遅くまでやれ、市役

所に直行便をつくれとか、どちらかというともっともっとムーバス事業を充実してほしいという要望が圧倒的でありました。私は、ムーバスの原点というのはお年寄りが駅まで行けるような、足として利用いただくということだったので、当初の目的はある程度充足をしているかなと思っておりませんが、今後のムーバスのあり方については再整理をしたいなと思っています。

中央線が高架化になりますと、例えば境のほうだと南北が一体化になりますので、路線によっては並行に行くようなところも出てまいります。もう少し有効的なルートもあり得るかなと思いますし、この間、ムーバスができて 12 年になりますけれども、新しい公共施設もできたり、福祉施設もできているので、そういうことにあわせて路線だとか、バス停の位置だとか、再度検証する必要はあるかなということでの整備計画の見直しをしていきたいなと思っています。

しかし、なかなか難しいですね。商店街にあまり人が来なくなったので、ムーバスをやめるというのはなかなかできないかもしれません。ですが、逆の発想で、ムーバスに乗ってきて、おもしろい商店街があるぞ、おもしろい商店があるということで、ほかの地域から呼び寄せるような、そんなことができればいいのかな。簡単に言うけれども、なかなかそれは難しいかもしれませんが。

それから、エキナカの問題をいただきまして、実は昨日 JR に行ってまいりました。この件だけではないですけれども、JR とはこの間さまざまな課題がありますので、たまに行かないと、どんどん進められてしまいますので、あいさつ方々行ってまいりました。

エキナカについても、私としては、ああいうところをどんどん増やすのではなくて、ぜひ地域との連携を第一に考えてほしいというお話をしました。回答の中では、地域にあまり影響のないような形で、つまり鉄道利用客の利便性を考えて店を出しているんだというお話でございましたが、ただ、中を見ると外にあってもいい店が多々あるので、その辺はちょっといかがなのかなと思っています。

いろいろなところで私も話をしておりますけれども、駅の中での勝負ではなくて、外へ出て来てほしいと思っておりまして、これから JR にも強く要請をしていきます。まず商店街と連携をした形でないといけないということを申し述べました。

それから、確かに三鷹駅というのは玉川上水の上ですよ。駅にいとまるっきりわからないですね。実は三鷹駅の北口のことを庁内でいろいろ議論している中で、玉川上水をもっと三鷹駅の北口につながるような形にできないかなという議論をしております。そういった視点で、水と緑の環境を駅前広場にどんとつなげるような、そんなしつらえ方ができないかなという議論をしているところです。確かに駅舎自体は玉川上水をまたいでつくった駅なので、もっと控えめにしてほしいことはありますね。ひょっとしたら、プラットホームの真下に玉川上水が流れているわけですから、そこはもう少し、透明のガラス板か何かで玉川上水を見せるとか、それなりのしつらえ方というのはあるかもしれませんね。そういったことも含めて整理をしていきたいなと思います。

6. 中部地区のビジョンについて

【ご意見】

緑町居住で中町で組長をやっている。今お話がありました、例えば玉川上水に関してどのようにしたいとか、市長さんは、三鷹の中部の場所というものをどのようになさりたいか。市長さんでいらっしゃるから、やはりビジョンというものがあると思うので、そういうことを私は聞きたい。個別のことはやはり個別が努力をしなければいけないことだと思うし、そのことに対しての小さい要望はまた商店会なり、何なりからすればいいことだ。

私は6年ほど前にこの武蔵野市に引っ越してきたが、正直とてもがっかりしている。お年寄りとか障害者の方とはとてもいいかもしれない。けれども、税金を一番払っている私たちの年代がおもしろい町とは言えない。吉祥寺は若者にはおもしろいかもしれないけれども、私が若いときは吉祥寺はとても憧れたが、今はちっともおもしろい町じゃないと思っている。一番税金を払っている我々の年代が何を望んでいるかということ、どのように受け取っていらっしゃるかということをお聞きしたい。

7. 商店会加盟店の地域参加、地域通貨への支援について

【ご意見】

西久保城山会の会員。質問というよりはお願いを兼ねてだが、先ほど市長さんのお話の中にも、JRのエキナカの話の中で、地域との連携ということで、外にもっと出てきてほしいというお話があったが、我々商店街がお祭やイベントを積極的にやってきたというような目で見ていただいている。我々商業者もそういう意識は今までかなりあったかと思う。

そういう中で、商店街が歯抜けの状態になってきたときに、今後我々商業者だけを中心にイベントとかお祭とか、東京都と武蔵野市と我々の3分の1ずつの補助があってやっていくというような話もあり、かなりの部分で市からの援助があって助かってはいる。ただ、これから10年、15年後に、小さな商店街がそういうことを担っていけるのかというようなことを大変危惧している。

今、中部地区では中部ふれあいスタンプというのをやって、何とか活性化を図っており、今年7年目になったが、なかなか加盟店が増えていかないという実態がある。もう少し地域の人たちとの連携ができないかということで、第2の柱として、地域通貨を商工会議所の支援をいただきながら、4、5年前から、流通実験を始めさせていただいている。6月、7月ごろには本格的に発行していきたいと思っているが、そんなときに行政がもう少し積極的に、関わってくれればと思う。例えばムーブスや、美術館、体育館施設が地域通貨を使って利用できるということまで発展すれば、信用度がかなりの部分で高まると思う。

それから、もう一点、先ほどの地域への連携強化という部分で、グリーンパークさんにも今度サミットストアが出来るが、一斉清掃程度は皆さん参加していただける。けれども、例えば先ほどあったお祭や、安協（交通安全協会）への参加や、消防団員というような問題のところまではなかなか大型店の従業員さんが入っていただけないということはない。その辺を今後どうやって考えていくのかというのは大きな問題だと思う。高齢化が進んで、若い人たちが少なくなっていく中で、地域を担ってきた商業者が中心になってもなかなか難しいというときに、どういった施策があるのかということを考えていただけたらと思う。

8. 商店会の要望の把握と実効性のある振興策の実施について

【ご意見】

緑町のグリーンパーク商店会の会員。先ほどの市長さんが話された、商店街振興に関することでちょっと言わせていただきたい。確かにこうであればいいなというようなことが、説明の中にあっただが、現実には規制緩和時代であって、小さな商店会は利益追求の大型店に客足を取られている。商店は長い間、規模を縮小しながら、日々自助努力している。地元の商店会は、50年、60年にわたって地元の皆様方に支えられている。特に今だと子育ての家族とか、特にこの地域は高齢者も多い。近くに商店街があることで高齢者の方々に喜ばれており、私たち商店としては誠にありがたく感謝している。



この緑町にサミットが出店してくることについては、緑町の商業地区のみならず、三鷹北口中部商店街全体に影響を及ぼすことは間違いないと思う。商店街にとってはものすごい打撃だ。先ほど市長さんがお話ししたように、商店会と行政とが手をつなぎ、地域を再生するには、よい商店街を育てようという行政の新たな発想の転換もしていただきたい。

それと同時に、今の商店会の皆さんが何を望んで、何を求めているのかということを経理は把握していただきたいと思う。商店会は今ほんとうに不況で、ましてこの後、平成21年度に大型店が来るので、実効性のある振興をお願いしたい。

【市長】

まず最初に、中部地区というのは結構範囲が広いんですけども、例えば三鷹駅周辺をどういうふうと考えていくかということで申しますと、これは当然吉祥寺と違います。吉祥寺はまさに商業施設の集積場所でございますが、三鷹駅北口というのは働く場でもある。働く場というのは業務施設もあるといったような、商業と業務の合わさった、そういう地域だと私は思っております。ですので、純然とどんどん商業施設が集積するというのではなくて、当然幾つかの既存の企業もありますし、働く場として大いに誘致できるものがあれば、そういう形で集積をしていったらどうかというイメージは持っております。比較的落ち着いたのがある駅前というのか、そういうイメージが私にあります。そのため、賑やかで、広告物があったりとかではなくて、落ち着いた駅前空間にふさわしい土地利用がなされれば良いのではないかなと思っております。

さらに、武蔵野市というのはすぐ住宅地が迫っておりますので、当然のことながら住宅地との調和というのは必要ですし、それからさらに住宅地の質を高めていく。質というのは安全性とかそういうことも含めてですが、とりわけ西久保地域というのはかなり密集をしているところでもございますので、こういうところの防災的な機能を高めていく、不燃化を促進していくというようなまちづくりも含めながら、こういう駅前の顔づくりをしていくことを考えています。

ただし、逆に申しますと、どういうまちにしたらいいのか、その辺はぜひ皆さんからお聞

きしたいなと思っておりますし、今現在、長期計画調整計画という市の大きな基本計画を立てておりますけれども、さらに具体的なまちづくりに関する方針として、都市マスタープランというのを今持っているのですが、その見直しをしていこうじゃないかとも考えております。その都市マスタープランというのは、まさに地区別にどういうまちにしていくのかを皆さんから直接意見をいただいて、それで皆さんと一緒につくっていこうという計画策定でございます。これは来年度以降予定してございますので、そんな場にもぜひ参加いただいて、こういういいまちをつくっていきましょうよというご提案をいただきたいなと思っております。

それから、地域通貨の話をしていただきまして、これも私はすごく注目しております。市内でも、けやきコミセン、それから南町コミセンの皆さんが試行されておりますが、なかなかそれが広がっていかないという課題もございまして。私はその地域通貨流通に行政もある程度参加することも必要だと思っておりますが、まだまだいろいろな課題がありますね。うまく流通されにくいという面もありますし、ほかの自治体の例を見ましても、いろいろな課題もあるので、今はそれぞれの取り組みを応援する立場で、その課題を明らかにしながら、ゆくゆくは地域通貨の考え方を全市的に広げていきたいなと思っております。例えば、ボランティア活動をする、市のいろいろな委員会に参加いただくと、地域通貨をお渡しして、それをまたほかの地域に行って使っていただいて、流通していくというようなサイクルも考えられるのではないかと考えております。内部的には研究をしようということで申してございますので、その成果も注目しております。ぜひ市とも連携いただきながら、取り組みを進めていただきたいなと思います。

それから、最後にご提案がありましたが、確かに商店街のことはなかなか行政が今まで関わりにくかったということもあります。しかし、法律も大店法から大店立地法へという規制緩和の大きな流れができてしまいまして、行政が関与しにくくなってきました。これはそもそもアメリカのいろいろな圧力があつたわけですが、しかし、地域の皆さんが頑張っているということに対して、行政も何らかの関与をしていくべきではないかなという思いと、商売はそもそも競争だという2つの側面があります。したがって、商店会の皆さんは地域に対してさまざまな形でまちづくりにプラスにご協力いただいていることもありますから、そういうことに対しては行政としては大いに支援をしていきたいなと思っております。

法制度の中で出店規制というのは厳しい状況下にございますが、日頃から商店会の皆さんと市がいろいろ連携をとりながら、新たな課題に立ち向かっていけたらなと思っております。なかなか具体的な答えができなくて申しわけないのですけれども。

9. 商店街の振興策と大型店の出店について

【ご意見】

まず、1つは、境の浄水場の西側にできる「いなげや」について、お話をお伺いしたい。私たちは、東京都と武蔵野市から中小の零細の路線商業の商店街に対して、元気出せ商店街ということで、イベントあるいは街路灯等についての補助金を、たくさんちょうだいして実施している。しかし片一方で、東京都が開発用地として所有地を貸すということで、地域の

商店街には元気を出せと言っておいて、そしてその場所に大型店が出店しており、これではやるのが逆だ。こういったことに対して、行政は、そういう情報があったときに地元あるいは商連あたりに早く情報を流していただいて、そういったものに対して拒否したいものは拒否したいというふうに私たちも考えている。

それから、先ほど市長が言ったように、三鷹駅の南北を含めて回遊性を含めた連携ができればというお話があった。実は、中部地区（活性化協議会）と商連が、一昨年に三鷹駅南口の中央通り商店会を視察させていただいた。中央通り商店街は 140 店ぐらいの会員数で、視察当日は、三鷹の清原市長さんもお見えいただいて「武蔵野から来てくださり、非常にありがたい」ということでお話をいただき、やはり南北の交流をぜひ私たちもやっていきたいと思っている。

それから、昨年 11 月に、清瀬駅南口の商店街を商連と中部地区（活性化協議会）で伺った。その際、清瀬の南口の商店街では、武蔵野市から来ていただいてほんとうにありがたかったということで、清瀬市の市報等にこのときのことを掲載していただいた。

私たち中部地域が常に考えているのは、在住のお客様に喜んでいただける商店街をつくっていかなきゃいけない。個店ももちろん同じような気持ちでやらなきゃいけないということだが、よその地域に行って勉強をしないと、なかなかいいものが浮かんでこないということで、最近こういったことを進めている。

それから、先ほどのサミットの件についても、つい一昨日は、東中野のサミットを見学に行った。また、あるいはこれから世田谷のサミットを中心に、商店街とサミットが絡んでいる地域を勉強しながら、両方で生きていける道を探りたいと今考えている。これは商連を通じて現在働きかけをいただいております、ぜひこんな勉強をしていきたいと思っている。これについて、いろいろな意味で行政側の指導をぜひお願いしたい。

10. イルミネーションの実施、更地の駐輪場の活用について

【ご意見】

ご存じのとおり、三鷹駅というのは新宿から 15 分の所だが、いつも都内から帰ってきて、北口で降りると、何かほっとする。それはやはり緑と、あとは街路樹の大きさといった癒しのものからくる三鷹駅北口の特徴だと思う。私は、2～3 年後には三鷹駅北口というのは大いに変貌すると思っているが、そのときまでに商店街として取り組めることについて、今考えていることがある。

三鷹駅北口は企業城下町なので、ある程度（客層の）読める人たちが通勤、通学している地域なわけで、吉祥寺と違って不特定多数の人たちが集まる場所ではなくて、また住宅も近いということで、地域に愛される癒しや憩いのある商店街というか、地域をつくりたいなということ最近考えるようになってきた。例えば、今、三鷹駅北口は正直言って夜はちょっと薄暗いが、しかし、その薄暗いところはまた逆に利用したほうが良いのではなかろうかと思う。夏は日が長く、冬は日が短い。そうすると、二番煎じ、三番煎じになってしまうかもしれないが、この辺にはないすばらしいイルミネーション事業とか、そういったものについて考えるようになってきた。

そのような事業には、すごいお金が要るようだが、そのときには市の協力だとか、あとは地域の企業だとか、いろいろとお力添えをいただいて、進めていかなくちゃならないということを考えているが、そういったものに対して市長さんはこれからどういうふうしたいとに考えているかをお聞きしたい。

また、本日の最初の意見で、駐輪場のことが出てきたが、あそこもどうにかしてもらいたいと思う。たまたま 2~3 年後には、駅前通りの自転車がツインタワーの北側の棟の方に移り、歩道がすごく広くなるということで、いろいろとイベントをやる面においては条件が整ってくる。ただ、今、駐輪場のあるところが、更地になっていて非常にもったいない。あそこもコンペみたいな形で、有識者の会で何か委員会をつくっても良いと思うが、コンペ方式で企画を考えて、活用していただきたい。

11. 商店街と地域の連携強化について

【ご意見】

私は、消費者の立場から発言したい。この「路線商業活性化懇談会提言書（抜粋）」にある提言 3 の「商店街と地域との連携強化」。これは本当に素晴らしいことと思う。私は、勤めているところが三鷹駅の北口だが、チェーン店のお惣菜屋さんが 2 軒撤退した。今までちょっと行って用を足していたところが、足せなくなったというようなことで、やはり大型店とかチェーン店というのは、商売が立ち行かなくなればすぐ撤退するというようなことがあって、かなり無責任なところがあると思う。

また、私が緑町の都営住宅にお住まいの方に話を聞くと、ひとり暮らしで買い物に行けない人は、電話で通信販売をやっている人もいるということだ。商店街の人たちは、ものすごく努力をしているけれども、消費者と商店街の人たちの要求がかみ合っていないようなところもあるのではないかという感じが時々する。そういう意味では、高齢者が歩いていけるようなまちづくりの視点で、商店街の皆さん方は本当に地域で頑張っておられるのですから、そういう力を発揮して、住民の人たちと連携プレーでやっていけたら本当に素晴らしいなというようなことを常々感じている。そして、もっとズレをなくすために実態調査みたいな、消費者の人たちの要望ももっとつかむような、そんなことを市がやってくれたらいいかなと思う。

狛江のほうでも宅配みたいなことを市が補助して、やって、それが定着して、今では市の補助がなくやっていけるようなこともあるみたいなので、そういうふうに本当に年寄りが歩いていける、それで子供たちが安心して暮らせるようなまちづくりをしていくように、もうちょっと歩み寄れないか。商店街と消費者がもっと歩み寄って、協力して豊かな町をつくっていくような、そういうようなことをしていただけないかなと感じた。

【市長】

まず、最初の質問についてですが、今回の境浄水場や、そのほかの大型店の出店の情報がなかなか地域に伝わっていないという課題は、私ども認識しております。しかし、私どもに来る情報というのも確たる情報でない場合が多々あります。しかも、今回、境浄水場の件

は都の土地利用の問題でありましたけれども、通常、民間の場合は任意にご相談に来られるというケースが発端でございまして、任意にご相談に来られるということは、行政は守秘義務があるということの中で、皆様にその情報を提供するという仕組みが今確立されておられません。

しかし、今、まちづくり条例という制度を検討しております。その中では、なるべく事前にそういう情報を地域に提供してほしいという仕組みづくりを考えておりますので、今までは任意にお願いすることしかできなかったのですが、それを条例制度として確立し、速やかにきちんとした情報を地元にお渡しするという仕組みをつくっていきたいと思っております。

それから、三鷹の南北交流につきましては、清原市長とも幾度か会いまして、いろいろ工夫しましょうという話をしておりますので、ぜひ商店会単位でもそういう交流を深めたいと思います。それから、当然のことながらその真ん中にはJRの駅がございまして、JRも巻き込みながら、回遊性のある駅周辺の計画づくりをしていけたらと思っております。

それから、まさにスーパーと商店会との連携、これはなかなか厳しい面もございまして、指をくわえているだけではなくて、何らかの連携ができないかというのは、常に模索をしていく必要があるかと思っております。簡単に申しますと、各個店というのは、歩いてくる、あるいは自転車で来るというお客さんが中心でございまして、スーパーというのはさらにそれに車に乗ってくるという広範の商圈を抱えると思っておりますので、その広範の商圈で来られるお客さんをいかに商店のほうにも引きずり込んでいくかというような基本的な考え方でもって、連携というものを考えていけないかなと思っておりますが、これもぜひこれから議論を深め、進めていきたいと思っております。

それから、2番目のご意見の中で、北口のこれからということの中では、「ほっ」とする空間という意見をいただいておりますが、確かに私も同じように感じておまして、緑があるということが三鷹の北口の原風景ではないかなと思っております。そこで、イルミネーションがどうかということにつきましては、これはもう少し地域でご議論いただきたいなと思っております。三鷹駅北口を降りるとイルミネーションが煌々としているという風景が、それが癒しになる場合と、ならない場合がありますので、その辺については大いに研究が必要かなと思っております。

ただ、ちなみに、吉祥寺駅の北口では、イルミネーション事業という形で地元の方が一生懸命やっただいて、非常にいいイルミネーション、今年も良いものができましたね。あれだけでも集客力があるのではないかなと思っております。それについては、さきやかでございまして、補助をしております。イルミネーションについては、商店街の皆さんがやられる場合に、一定の補助が可能だという考え方を持ってございまして、そういうこともぜひ商店街の皆さんで考えられて、提案いただけたらなと思っております。

駐輪場につきましては、駅前の一等地ですので、もったいないと私も思っております。これにつきましては、実はいろいろと公共的な利用ということも前提にない訳ではないので、きちんとした公共としての考え方を整理した上で、皆様の意見を求めていくということを考えていきたいと思っております。

それから、消費者の視点ということで、大いに地域との連携を深めていただきたいという話がありました。まさにそのとおりでございまして、例えば宅配の仕組みも、個店だけではなかなか取り組みは難しいような気がしますので、そういうのは商店会単位で宅配の新たな仕組みづくりとか、それは極めて大いに市民ニーズがあるのではないかなという気がしております。しかも商店会から宅配で買う場合、品物がどの店から来るというのがわかるわけですから、通常のインターネットショッピングでのどこから来るかわからない品物とは違います。そういう形で歩いていけるところにもある、そしてさらに歩くのが大変だなという方については宅配便の仕組みがあるだとか、地域との連携を強められるような仕組みを、ぜひ一緒に研究をしていこうではありませんか。

12. 地域に根ざした産業の育成について

【ご意見】

私は田舎から来て 40 年になる。私が犬とともに 16 年間、緑町にある都の中央公園で遊んできた中で感じた点についてお話したい。

大分県の平松元知事が、1979 年ですか、今から約 30 年前に、一村一品運動ということをご提案されたことは、皆さんもご存知のとおりだと思うが、地域に根差したものでないと、強い先々の発展はないと思う。それで、中央公園は、たまたま中島飛行機武蔵製作所という、エンジンをつくっていた工場があり、あそこで 250 人ぐらい亡くなったということを聞いている。そこで私がお話ししたいことは、平和祈念のイベントを重ねて、村興しをしていただきたいということだ。



例えば、武蔵野うどん、昔は、武蔵野ではうどんをたくさん冠婚葬祭で食べたようだが、そういう一つの製品を、それをただ売るだけじゃなくて、農家と連携してうどんのトッピングを加工するなどということをやっていたらと思う。

それで、中央公園で何をするかといったら、5 大学や高校も含めたブラスバンド、中学校では綱引き、幼稚園では大玉転がしなど、中央公園を最大限に使って、武蔵野全体、そして武蔵野から東京都、または日本に発信できるぐらいのイベントをつくり上げていけると私は確信している。それはなぜかというと、四国を歩き、遍路したときに、いっぱいうどん屋さんを見かけた。一軒一軒は、決して大きくないのだが、うどん屋さんがいっぱいあって、みんな一つの賄い食として地域の人が食べにそこに行っている。そして、強力に大きな店もあり、本州からも渡ってきて食べている大きなうどん屋さんになっている。そういう点からも、ぜひ武蔵野の地域に根差した産業をやっていただきたいと思う。

13. サミット周辺の交通について

【ご意見】

サミットの件でちょっとお伺いしたい。先ほど、グリーンパークの方が、駐車場の入り口

が5本あるということで話をし、市長はそれをガードマンがカバーするだろうという話をしておられたが、それはだれでも考えることだと思う。我々が市長にお願いしたいなと思ったのは、その入り口を一つでも減らす方法を指導してもらえないのかなということであり、そのことについて提案したい。

それと、今大店法がなくなりましたので、大型店が出てきたら阻止することはできない。だけれども、市の条例やそういったもので少しは網をかける方法がないものか。そういう指導をしていただけたらいいなと思っている。

それから、昨日、説明会の話の中でバスの停留場の移動があったが、先ほど市長もおっしゃったようにスーパーと商店街とうまくやっていくためには、お互いに行ったり来たりが必要で、私どももそう思って、横断歩道の設置を考えていた。しかし、バス停の移動があり、それはまさに横断歩道の設置を考えていた真ん中に来てしまったということで、そういったことに対する指導も何とかならないものかなということをお聞きしたい。

【市 長】

最初の方のお話は、武蔵野で名物をつくって、例えばうどんの町だとか、そういうことでやったらどうかということですが、武蔵野には何かそういうのは、今ありましたか。

【商連会長】

ないですね。

【市 長】

商工会議所も、あるいは商連の皆さんも、そういう名物づくり、いろいろ工夫をされていますので、何かそういうものが、すぐにできないかもしれないけれども、やがて消費者の皆さん、地域の皆さんに支持されて生まれるかもしれませんので、そういうのを育てていきたいと思っております。

さらにイベントといえば、毎年、市役所の南側で春先には桜まつり、秋には青空市という形で、皆さんにも協力いただきながらやっているイベントがございます。そういう中でも名物を食べられるコーナーをつくって行って、愛していただくというようなことも考えられるかなと思います。

それから、サミットの件で、ガードマンの配置は最低条件でありまして、これは必ず配置をさせるということで強く指導してまいります。それから、同時に、具体的に入り口の位置については、今後の協議となります。都市整備部長がおりますので、ちょっと簡単にコメントを。

【都市整備部長】

先ほどの方も言われていましたけれども、北側から行きますと、裏側の未利用地に入る1カ所、それからその南に今度は逆にサミットさんに入る駐車場への入り口、それから一番南側のビルに接する、例えば材料の搬入などをすると今一応3カ所を考えているわけでございます。

今言われたように、私どもとしても、入り口はなるべく少ないほうがよいと考えております。できれば今北側にある未利用地と駐車場、これを1カ所にできないかというのが1点。

それから、もう一つは、2階以降に上がる駐車場、1階で行う搬入の作業の入口をどうにか一緒に出来ないかという形の中では、現在指導というか協議はしていますが、非常に難しいということがございます。

それは、1つは、今のバス停が高齢者総合センターのほうに寄っていますので、それをサミットの前に持ってくるということがございます。そのバス停との兼ね合い等がございますので、現在、宅地開発指導要綱の中で計画審査まで終わってしまっていて、今、地元の皆さんにその辺を含めた中で説明し、いろいろな意見を聞いているという状態でございます。今日、言われたような意見も含めた中で、これははっきり言って全部できるという話ではございませんが、今、市長が言ったように、なるべく協議した中で入口を少なくするようには指導していきたいと思っています。ただ、はっきり言って、一定の計画をつくってしまいますと、それから少しでも直すということは非常に難しい点がございます。

それと、確かに今 1,000 m²以上の商業床をつくった場合には大店立地法にかかってきますけれども、先ほど市長も言うておりましたように、まちづくり条例の中では、そうではなくて 500 m²以上についてもそれを規制していこうという形の中で現在検討を進めています。少なくとも 1,000 m²以上のものは大店立地法に関りますが、市としても商業床が 500 m²以上については、これからそういう条例をつくった中で、指導していくという形でございます。

14. 中部圏のグランドデザインについて

【ご意見】

ただいま、第四期長期計画の見直しをやっているが、その中でも吉祥寺圏はグランドデザイン、それから武蔵境圏は南北の協議会ができ上がって、まちづくりについていろいろ提案がされ、協議されている。ところが、中部圏だけは無く、記述も非常に行数が少ない。

そこで、これだけいろいろの、たくさんの商店街のそれぞれの責任者の方々が、それぞれ個性のあるご意見をいろいろ出していただくので、ぜひ中部圏についてのグランドデザインを立ち上げるということで、皆さんのお力をまとめることをお願いしたい。路線商店の皆さんと、消費者のほうと、それから行政とを整理して、それぞれの商店街の特徴を生かしながら、全体がうまいこと生き延びる方策をつくられるということ、そういう協議会を立ち上げて、早急にまとめ上げていかないと、常に中部圏は取り残されるという形になってしまうのではないかと。

邑上市長がいろいろ頑張ってくださいても、地元が頑張ってくださいなければ、市長も手の出しようがないということがあるので、ぜひそういうところの視点で協議会を立ち上げていただきたい。

15. 路線商店街よりも小さな商店の集まりに対する支援について

【ご意見】

関前・八幡町というのは、図面で見てもわかるように、武蔵境からは三角の関係で、三鷹駅、武蔵境駅から大変離れている。商店会としても、店舗数は 100 店を超しているが、路線ではなくて、点々と散らばった状態である。私どもは、中部といっても特殊な位置にあるの

で、要望といっても何を要望していいかわからない。また、商店も商業施設だけでなく、建築業者やいろいろそういう方々の集まりなので、地域としてもどういう要望をしていいかわからない。

ただし、我々は地域との協力という点ではすごく役割を果たしていると思っているので、何かをやる場合に、大きな商店街としてのまちの補助というのではなくて、まことに小さい話になっちゃうのだけれども、個別に何かをやる場合は、商店会としてそこに何か協力していただけるような形ができないものか、ちょっとお聞きしたいと思う。

16. 武蔵野市の独自条例による商店街への支援について

【ご意見】

サミットのことで何度か説明会や話し合い等に参加させていただいた。先ほどお答えの中で、条例のほうを考えてくださっているということだったが、今日は、私はその条例について強くお願いしたくて来た次第である。

法ではどうにもならないというか、規制ができないということで、やはり商店街をしている者としましては、それぞれは本当に小さいお店で、それぞれの力というのは小さいものなので、大きなところと対峙してとなると、共存共栄してくださいといった形で市からお話をいただいても、難しいというところが本音だ。法ではどうにもならないということなので、武蔵野市として、これからの商店だったり、地域だだりの発展を考えていただいて、武蔵野市独自の商店を応援してくださる条例というのをぜひつくっていただきたい。

私たちは2代目なのだが、商店街を見ても活気がないし、2代目とか、3代目とか、継ぐ方もどんどん減ってきていて、市でこれだけ商店街を応援してくれているとか、商店街に力を注いでくださっているというのが伝わるだけでも商店街は頑張れるし、他のところに就職しようかなと思っていた例えば息子さんだとかも、「だったら、おやじ、継ぐよ」となったりするかもしれないと思う。

なので、やはりそういった武蔵野市独自の条例といいますか、商店街を少しでも応援してくださるようなものをつくっていただけると、私たちにとってもすごく励みになると思うので、その辺のところを、ぜひ早急に進めていただきたい。

17. サミットの建物の歩道からの距離について

【ご意見】

サミットの件について、歩道から建物までが、2 mか3 mぐらいしかない。それに駐輪場については、ほかのサミットさんを見学に行ってきたけれども、例えば三鷹のサミットさんの場合、歩道から入るまで大体8 mぐらいある。それで、1日2,500人のお客さんをお呼びということで、自転車をそれで賄い切れず歩道にはみ出るといけないかということが一点。

それで、今日先方からいただいた紙には、バス停のところが1 mぐらい切るような図面になっていた。そうすると、敷地から歩道部分が2 mばかりなわけです。それで自転車がはみ出たら、通学路で相当邪魔になるのではないかと。

そして、駐車場については、2階に上がるのだけれども、善福寺だと1つのスロープから

下に行くのと、上に行くのに分かれている。その方法をとってもらえれば、1個でも駐車場の入り口が減るのではないかとということも研究してもらいたい。

もう一点は、2階、3階の駐車場について、外から見ると、ほかの駐車場だとコンクリの打ちっ放しで、真ん中が抜けたような感じになっている。排ガスの問題とか、消防法か何かで抜かなくちゃいかんということだが、外見はきれいにしてもらおうということをお願いしたい。

そのためにも、駐車場を広く建てるためには、建物自体を2~3m下げてもらいたいというのが私の案なのでお願いしたい。

【市長】

ありがとうございました。最後のグリーンパークの話からお答えをしていきたいと思っております。まず、おっしゃるとおり、共存共栄しようよといっても、実態はなかなか難しいというのは私も思います。しかし、進出すると決まった以上、それなりの戦略というか工夫を考えていくことが必要だと思っております。いろいろなアイデアを出し合おう、ということが基本であります。

それから、もう一つは、法律的な制度が既存の商店街にとって厳しいものですから、それでは、あとは市独自の考え方を示していくべきだということについては、おっしゃるとおりでございます。市としましても今後の調整の仕組み、あるいは情報提供の仕組みを含めて、まちづくり条例という形で制度を固めていきます。

さらに、全市的な話の中でのスーパーのあり方については、(グランドデザインのある)東部についても、現在、特に大きな考え方は持っていません。このままどんどんスーパーに進出されることが、武蔵野市にとって本当の発展につながるかという議論は実はしておりませんので、これから市内の商業環境のあり方というのは、現状も踏まえて整理をした上で、一定の考え方を持つべきだと思っております。

そういう一定の方向性で考え方を持てば、こういう大規模店についてはなるべく控えていただくとかいう言い方もできるので、これは大きな課題かもしれませんが、武蔵野市の将来的な商業環境というのを大いに研究をして、それを根拠に一定の方向性を持ちたいと思っております。

それから、サミットの交通関係の話を。

【都市整備部長】

まず、建物の位置でございますけれども、これはそれぞれの店で、土地の敷地の形態がございますので、その中で考えてございます。今言われた三鷹のほうですか、それが8メートル。今回は2メートル程度ですけれども、これについては土地のいろいろな形がありますので、今の時点で、言われたような形の中であと2m、3m後退するということについては非常に難しいのではないかと考えてございます。

それから、駐車場と駐輪場の問題ですけれども、当然駐車場につきましても大店立地法と東京都の条例がございまして、それに基づいた台数で現在は90台。規制ですと84台でいいんですけれども、これは90台を予定してございます。それから、駐輪場につきましても、大

店立地法の中で一応 60 台、それから私どもの自転車条例の中で 104 台ございまして、今のところ 108 台設置するというご様子でございます。

それと、お客様がこの駐輪場等に置かないで歩道上に置いてしまうということにつきましては、東急ストアのところもそうでございますけれども、歩行者が通行できなくなってしまう状況もございまして、それぞれの店舗に対しまして、別途新たな駐輪場をもう少し増やしてくださいと要望しております。今回につきましても、新しくつくるところでございますので、できる範囲の中では当然もう少し増やしてほしいということも言いますし、少なくともそこにはみ出さないような指導については、駐車場の入り口の誘導とあわせて、ガードマン等々のことについてもこれから指導してまいります。それもあわせて自転車の整理、それから駐車場の出入口につきましても、右折で入るときだとか、逆に右折で出るとかというような形もございまして、これは当然これからも協議していくという形でございます。

【市長】

それから、関前八幡町親交会の皆さんからご質問いただきましたけれども、いろいろな補助制度があるので、個別の話はぜひ生活経済課のほうにお問い合わせいただきたいと思います。しかし、例えば 1 月 2 日以降に新築をされる非住宅につきましては固定資産税の軽減措置というのを導入しましたので、それについても、非住宅で 3,000 ㎡以下というような建物でございますが、そういう新しい制度をこれからもいろいろ研究して生み出してまいりますので、いろいろな制度を活用いただきたいなと思っております。

それから、最後ですけれども、この地域のきちんとしたビジョンを固めるべきじゃないかといったようなお話でございます。私も確かにそうだなと思っております。吉祥寺グランドデザインは主に吉祥寺駅周辺の商業地域を中心としたビジョンでございますが、それから方策もやったものでございますが、三鷹の場合はどうかというと、おそらく中部地区全体だと広過ぎてしまうのかなという気がします。もちろん基本構想、長期計画、調整計画等々で全体の方向性は位置づけをしてまいりますし、さらに、先ほどのご質問の中で出ました、都市計画マスタープランの見直しを今後していきたいなという中では、中部地域という中で大きな方向性を描いていくということもしてまいりたいと思っております。

それに加えて、今日、何回かお答えしている中で、三鷹駅の北口を中心にしたエリアについては、北口のツインタワーもできていく、道路等も整備をしていく、駐輪場も確保していく、さらに先ほどから出ておりますが、暫定利用の駐輪場も含めて、北口の周辺地区ということにつきましては、きちんと整備計画を築き上げていかないといけないなと思っておりますので、名称は決めてございませませんが、北口地区の再整備計画といったものをきちんと議論をして、定めていきたいなと思っております。当然のことながら、そういう中にも皆さんのご意見をいただきながらつくっていききたいし、それはここだけではなくて、これと南口との関係を含めた中で方向性を定めていくのではないかなと思っております。

(3) 閉会のあいさつ

【武蔵野市商店会連合会 金子会長】



皆さん、長時間にわたり、貴重なご意見、ご提言をいただきまして、ありがとうございます。私、皆様のご意見等をお聞きしながら、市長がどうお答えするのかじっとお聞きしたんですが、商店会連合会としては何をやらなきゃいけないか、これがだんだん見えてきました。私の任期は来年5月までなんですが、その1年間で何を優先的にやっていかなければやらないかということがよくわかりました。あとは皆様のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。ありがとうございました。

【市 長】

皆さん、夜遅くまでありがとうございました。質問の中で、商店街の現状をよく知ってほしい、聞いてほしいということをおっしゃいましたが、確かにいろいろな課題があるのだと再認識した次第です。その課題も、全体的に共通する課題もあれば、地域ごとの課題もあるということですので、皆様の日頃の課題を市に、あるいは、私にも直接お寄せいただきたいし、現場でいろいろ私が知る課題もありますので、いろいろなイベントも含めて、よく現場を見るということで、大いに市長を地域に引きずり出していきたいと思えます。



いずれにしても、今日いただいた意見も踏まえて、さらにこのまちが、商店街が活性化するような方策を市としても考えていきたいし、皆様方も、地域の発展のために、各個店の発展のために、さらに、お力をいただけたらと思えます。

今日いただいた意見については、報告書としてまとめて、また皆さんにお戻しをしますので、それを材料、ヒントにして、さらにまちづくりに皆さんのお力をいただきたいなと思えます。これからもともに頑張りましょう。本日はありがとうございました。

1 商店会の状況

武蔵野市は、10.73 平方kmの市全域が良好な住宅地を形成しており、そこに 133,522 人（住民基本台帳人口、平成 18 年 3 月 1 日現在）の市民が生活している。

商業地は、J R 中央線の 3 駅圏を中心に発展し、住宅地に隣接して路線商店街が市民の日々の生活を支えている。

(1) 商店会数及び会員数の推移

表 1

調査日	平成 17 年 3 月 17 日		平成 16 年 3 月 17 日		平成 15 年 3 月 19 日	
地区	商店会数	会員数	商店会数	会員数	商店会数	会員数
全 域	(6) 52	3,320	(6) 53	3,354	(7) 54	3,462
吉祥寺	(5) 24	1,862	(5) 25	1,856	(5) 26	1,961
中 部	16	954	16	964	16	958
武蔵境	(1) 12	504	(1) 12	534	(2) 12	543

※ 商店会の範囲

- ・全 域…武蔵野市全域
- ・吉祥寺地区…成蹊通り及び成蹊通り延長線以東
- ・中 部 地 区…成蹊通り及び成蹊通り延長線から玉川上水以北の武蔵境通りまで
(但し桜柳会を除く。)
- ・武蔵境地区…玉川上水以南と玉川上水以北の武蔵境通り以西(但し桜柳会を含む。)

※ ()内は法人商店会(商店街振興組合、商業協同組合)で内数。

※ 商店会名は、資料 1 (6 頁)参照。

(2) 商店会加入状況

表 2

地 区	商店会数	調査実施商店会		商店会加入状況			未加入店の内訳	
		商店会数	商店数	正会員	準会員	未加入店	チェーン店	チェーン店以外
全 域	52	37 (71.2%)	3,095	2,456 (79.4%)	275 (8.9%)	364 (11.8%)	45 (12.4%)	319 (87.6%)
吉祥寺	24	14 (58.3%)	1,537	1,159 (75.4%)	190 (12.4%)	188 (12.2%)	15 (8.0%)	173 (92.0%)
中 部	16	15 (93.8%)	1,059	909 (85.8%)	39 (3.7%)	111 (10.5%)	16 (14.4%)	95 (85.6%)
武蔵境	12	9 (75.0%)	499	388 (77.8%)	46 (9.2%)	65 (13.0%)	14 (21.5%)	51 (78.5%)

平成 16 年 7 月調査

2 商店街の利用状況に関するアンケート調査(要約)

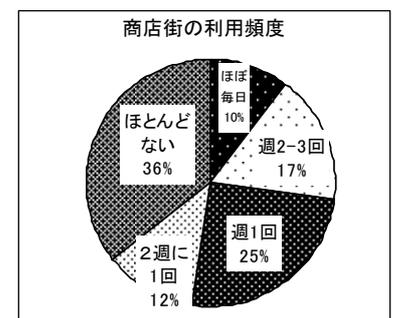
調査目的	商店街の利用に関する意識、要望を把握し、今後の地域商業活性化の基礎資料とする。		
調査対象	市内居住、16歳以上、500人（無作為抽出）		
調査方法	郵送法		
調査期間	平成17年7月15日から平成17年8月1日まで		
回収状況	回収数	253通	回収率 50.6%

※ このアンケートでいう「商店街」は、主として、駅から離れた場所または住宅近隣にある商店街と個人商店（スーパー、コンビニなどを除く）を指す。また、商店街の場所は、武蔵野市内、市外は問わない。

(1) 商店街の利用は3人に2人

商店街に限らず、買物の頻度をたずねたところ、「週2～3回」が43%で最も多かった。「ほとんどしない」は5%であった。

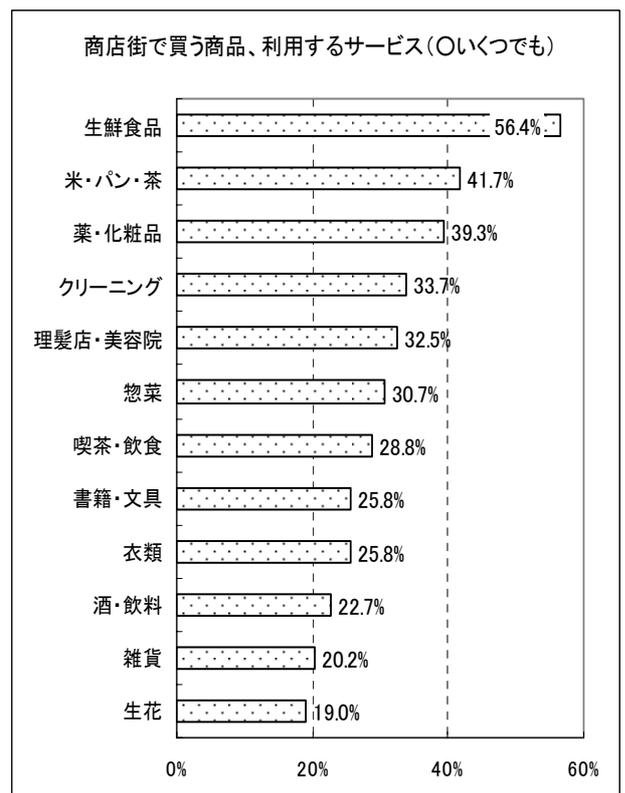
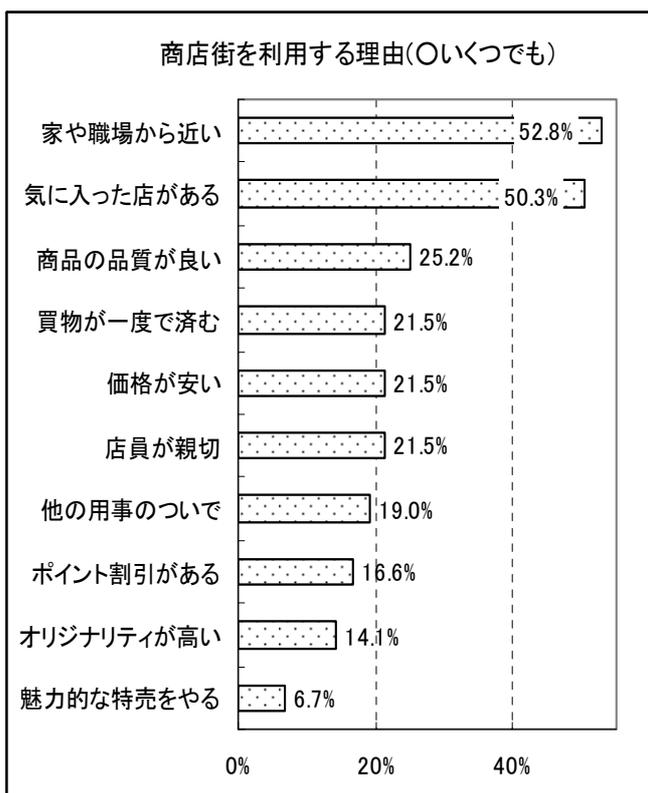
商店街に限定して買物の頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日（10%）」「週2～3回（17%）」など「利用する」の合計が3人に2人、残りは「ほとんど利用しない」であった。



(2) 商店街利用は「家や職場から近い」「気に入った店がある」が最大の理由

商店街を利用する理由は、「家や職場から近い(53%)」「気に入った店がある(50%)」が突出して多い。商店街で買う商品については、「生鮮食品(56%)」「米・パン・茶(42%)」など食品関係が多かった。

商店街を利用しない理由をたずねたところ、「買物が一度で済まない(49%)」「夜閉まるのが早い(36%)」が多くあげられた。

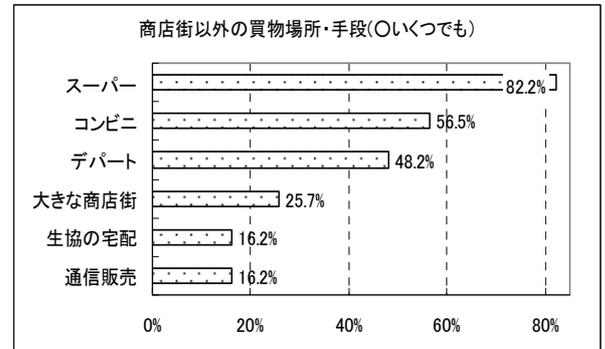


(3) 利用したいと思う店舗の条件は、まず「品質」と「価格」

「商品の品質が良い(71%)」「価格が安い(63%)」「品揃えが豊富(63%)」など商品に関する条件を望む人が多かった。その他「店員が親切(57%)」「店がきれい(42%)」が多かった。年代別では、10-20歳代で「夜遅くまで営業(64%)」が比較的多かった。

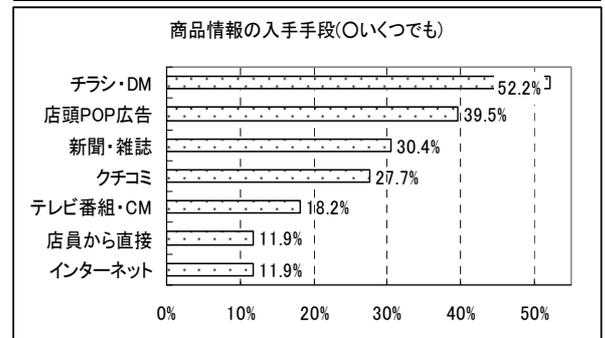
(4) 商店街の競合相手は、やはり「スーパー」

商店街以外の買物場所は、「スーパー(82%)」「コンビニ(57%)」「デパート(48%)」が圧倒的に多い。性別では、「生協宅配(男性9%、女性22%)」で差があった。年代別では、10-20歳代で「コンビニ(85%)」、30-40歳代では「通信販売(21%)」、50-60歳代では「生協宅配(23%)」、70歳以上では「デパート(65%)」が比較的多く特徴的である。



(5) 商品情報の入手は「チラシ」「店頭POP」で

商品情報の入手手段は、「チラシ、DM(52%)」「店頭POP広告(39%)」が多かった。属性別では、「クチコミ」が女性(31%)と10-20歳代(36%)で多いが目立つ。

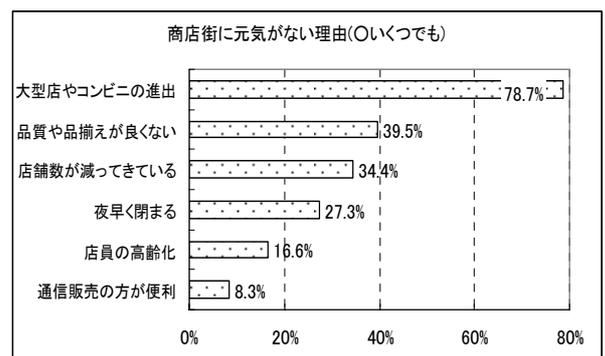


(6) 魅力ある商店街にするには「商品・接客の充実」を

魅力ある商店街にするための意見をたずねたところ、「商品充実や接客向上等の買物機能強化(68%)」「飲食店や休憩所等の充実(30%)」「情報提供の充実(29%)」が多かった。年代別では、10-20歳代で「飲食店や休憩所等の充実(39%)」、30-40歳代で「情報提供の充実(37%)」、50-60歳代で「配達サービス(26%)」などの意見がそれぞれ多かった。

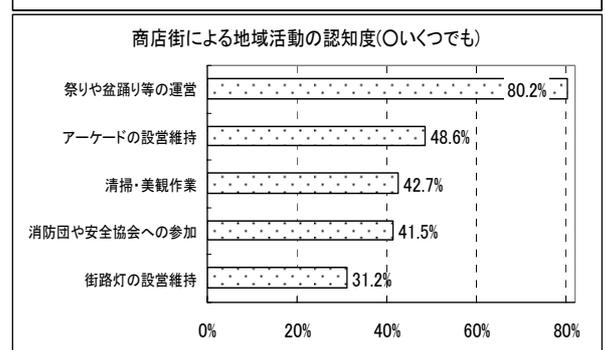
(7) 商店街に元気がない理由は「大型店の進出」

「大型店やコンビニの進出(79%)」が最も多かった。その他では「商品の品質や品揃えが良くない(40%)」「店舗数が減ってきている(34%)」が多かった。属性別では、男性、10-20歳代、30-40歳代で「夜早く閉まる」という意見が多くあげられた。



(8) 認知度の高い地域活動は「祭りと盆踊り」

商店街で行っている地域活動では「祭りや盆踊り等の運営」が80%で最も認知度が高かった。性別では、男性で「消防団・安全協会への参加(48%)」「街路灯の設置維持(36%)」の認知度が高かった。年代別では、50-60歳代で「祭りや盆踊りの運営(85%)」を始め、どの項目もおしなべて高かった。



3 まとめ(提言)

武蔵野市路線商業活性化懇談会は、平成17年5月から平成18年3月まで9回の会議を開催し、商業者と消費者の双方から数多くの意見が述べられ議論が交わされた。

市場経済化が進んだ現在は消費者の評価が全てであり、消費者が必要とするか満足するかが価値基準となっている。大型小売店と中小小売店には、人材、資金力、情報力等歴然とした差があり、また、少子高齢化や24時間型社会の進展に代表される市民生活の変化が消費者ニーズを多様化・高度化させ、店頭へ足を運ばなくても日常生活に必要な物は、ほとんどが自宅に居て揃ってしまうという時代に突入している。

そういった時代背景の中で、どうしたら個店に足を運ばせることができるか、どうしたら商店街に賑わいを再生できるか、どうしたら商店会の存在意義を発揮できるか等について、路線商業活性化のために特に必要な次の4点にわたり提言する。

提言1：商店会の組織力強化

- (1) 加入促進活動
- (2) 会則、事業計画・報告、会計処理等の提供
- (3) 商店会内のコミュニケーションの活性化
- (4) 商店会活動のPR
- (5) 商店街ぐるみでの買物機能の充実
- (6) 共同事業の推進と商店会連携

提言4-1：行政の積極的な関与（提言1に関して）

・商店会加入促進策の支援（条例の研究、キャンペーン実施の支援など）／組織力強化に関する支援（法人化支援）／商店会事業への補助／広域連携事業への補助（共同スタンプ事業、ウエルカムキャンペーン、イルミネーション、コミュニティースタジオ事業）／アドバイザー派遣／イベントの広報協力／情報提供（各種説明会）

提言2：個店の魅力向上

- (1) 豊富な商品知識を持つ
- (2) 接客の向上
- (3) オリジナル商品の開発や発掘
- (4) 陳列方法の工夫
- (5) 商品の鮮度向上
- (6) 店舗のブラッシュアップ、ユニバーサルデザイン化
- (7) お買物情報・お得意情報の提供、スタンプサービスの実施
- (8) ITの活用

提言 4－2：行政の積極的な関与（提言 2 に関して）

・マイスターショップ認定制度調査補助／アドバイザー派遣／小規模企業者融資斡旋事業

提言 3：商店会と地域との連携強化

- (1) 地域コミュニティの核としての商店会
- (2) 人に優しい商店街
- (3) イベントの活用
- (4) 地域ネットワークの活用

提言 4－3：行政の積極的な関与（提言 3 に関して）

・国、都及び関係機関等との連絡調整／市役所内部及び役所間等における連絡調整／市民団体や大学等との連絡調整／情報提供

市内商店会一覧

商店会名		商店会名	
地区	吉祥寺地区 (24商店会)	地区	武蔵境地区 (12商店会)
1	井の頭通り商店会	41	桜柳会
2	吉祥寺末広協栄商店会	42	武蔵境駅前商店街協同組合
3	吉祥寺南口商店会	43	武蔵境温泉通り商栄会
4	吉祥寺パークロード商店会	44	武蔵境本町通り商工会
5	御殿山幸栄会	45	武蔵境独歩通り商店会
6	吉祥寺本宿東一会	46	西原三栄会
7	本宿商栄会	47	桜堤西商店会
8	協親会	48	桜堤中央商栄会
9	四軒寺町会	49	境南協栄会
10	八幡通り協栄会	50	緑盛会
11	稻荷町会	51	富士見通り商店会
12	吉祥寺サンロード商店街振興組合	52	境南中央商店会
13	吉祥寺北口駅前商店連合会		
14	ダイヤ街商店協同組合		
15	吉祥寺平和通り商店会協同組合		
16	吉祥寺元町通り商店街振興組合		
17	吉祥寺エフエフ商業協同組合		
18	ペニーレーン商店会		
19	吉祥寺レンガ通り商店会		
20	吉祥寺公園通り商店会		
21	吉祥寺大正通り商店会		
22	五日市通り親交会		
23	中道通り商店会		
24	吉祥寺女子大通り光会		
地区	中部地区 (16商店会)		
25	中道第二商店会		
26	大野田商店会		
27	武蔵野中央会		
28	八丁商和会		
29	三鷹駅北口商店会		
30	三谷通り商店会		
31	中央通り西祥会		
32	西久保城山会		
33	西久保N T T通り商店会		
34	西久保商店会		
35	緑町商栄会		
36	グリーンパーク商店会		
37	緑町一番街		
38	宮前親交会		
39	延命寺通り商店会		
40	関前八幡町親交会		

※ 番号に網掛けのある商店会は、法人化されている商店会。

主役は市民です

今回のタウンミーティングは、「三鷹（中部）地区の商店街振興」というテーマについて、事業者・市民の皆様と市長が意見交換をします。

お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

- 期日 平成20年1月30日（水）
- 時間 午後7時00分から9時20分
- 会場 西久保コミュニティセンター

武蔵野市西久保1-23-7

- ◆内 容 三鷹（中部）地区の商店街振興に関すること
- ◆出席者 事業者・市民の皆様（どなたでも）、邑上守正市長
市関連部長
- ◆申 込 当日、直接会場へお越しください。
- ◆主 催 武蔵野市
- ◆協 力 武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会

*お車でのご来場はご遠慮ください。

問い合わせ◎武蔵野市企画政策室市民協働推進課
Tel.0422-60-1829 Fax.0422-51-2000

三鷹(中部)地区の商店街振興

大型商業施設計画に伴う路線商店街の 課題及び活性化策について



JR のエキナカ出店に伴う路線商店街の 課題、活性化策及び JR と地元の協力の あり方について



当日参加できない方で、商業振興について、市長にご意見・ご要望のある方は下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAX（51-2000）でお送りください。

第17回

商業者、市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成20年 4月

武蔵野市企画政策室市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)